

令和2年度事業計画書(案)に対するご意見・事務局回答まとめ

① 広く認知され、多くの人にとって横須賀市を訪れる

事業計画

小林委員長	事業計画そのものについては問題ないのですが、今年度は出足からコロナウイルス防止策に伴い、イベントの参加への自粛等が予測されますので、その辺の手立てをどう講じるかを配慮しなければならないのではないのでしょうか。
菊池委員	前文(P1)に「全庁的な取り組みである浦賀奉行所300周年記念事業・・・」と特記してある関係から、2 広報・集客促進事業(P2～P3)にも少し広報面で追記したほうが良いような気がします。計画案の詳細を見たところ、1 か所P9に触れているだけなので。
事務局	ご指摘のとおり、2 広報・集客促進事業に、全庁的な取り組みである浦賀奉行所300周年記念事業と関連した所蔵品展における特別展の広報について追記します。
草川委員	今年度はコロナウイルスの影響で休館するなど、大幅な入館者数の減少が見込まれますが、多分10万人は達成できるのでは。 来年度は当初多少の影響が残ると思いますが、11万人の目標は十分達成出来るものと確信いたしております。
中村委員	コロナウイルスの影響をある程度考慮した観覧者数目標に修正必要ではと思います。

達成目標

小林委員長	コロナウイルスの影響に伴う事業計画の見直し等が伴った場合、達成目標の設定も変わるのではないのでしょうか。その辺りを留意頂けると幸いです。
菊池委員	基準値として設けた10万人と言う目標設定を、通年の傾向から、敢えて上積みする必要はないと思います。P2の「展覧会及び観覧者数(見込み)」の表を積算した結果、10万人を超えて努力目標にすることはいいことだと思いますが、評価基準は趨勢によってぶらさないほうが良いと思います。10万人を超えればA評価で、そこをさらに大きく超えればS評価になるわけですから。
事務局	本市で、別に策定している横須賀市教育振興基本計画等で観覧者数目標を11万人としていることもあり今回設定しました。令和元年度は、臨時休館が相次いだにもかかわらず、15万人を超える多くの方にご来館いただきました。令和2年度も展覧会情報や美術館の総合的な魅力、地域情報など積極的に発信し、集客につながる訴求活動をしてまいります。
柏木委員	令和2年度の実績を踏まえて、令和3年度に下方修正する可能性もあると思われます。そこは柔軟に目標設定してください。

② 市民に親しまれ、市民の交流、活動の拠点となる。

事業計画	意見なし
達成目標	意見なし

③ 調査研究の成果を活かし、利用者の知的欲求を満たす。

事業計画

小林委員長	調査研究があって、今年度の企画が決まったと思います。今年度の調査・研究に関しても、横須賀ゆかりの作家や所蔵作品の情報収集、調査研究に比重が置かれているようですが、そのことに捉われ過ぎると市民の美術に対する関心への把握が覚束なくなるのではないのでしょうか。その意味でも、情報収集、調査研究については、「横須賀ゆかりの・・・」プラス・アルファーと言った視点での設定も必要かと思えます。
事務局	ご指摘のとおり、展覧会は横須賀ゆかりなど地域に関連する内容だけでなく、幅広い内容を取り扱っていきます。その意味でも、情報収集、調査研究について「横須賀ゆかり」と記載しておりますが、幅広く行っていきたいと考えています。
中村委員	内容は充実していると思います。

達成目標

草川委員	毎年度話しをさせていただいているが、満足度80%では低いのでは。実績も毎年達成しており、評価もされているのでもう少し高い目標で挑戦してはいかがでしょうか。
事務局	満足度について様々なご意見を頂戴しております。80%は決して低い数値ではなく、過去には70%だった目標を上げた経緯があります。また、高すぎる満足度を目標にすると、挑戦的な内容の展覧会を考えにくくなることもありますので、現状は80%にしたいと考えております。

④ 学校と連携し、子どもたちへの美術館教育を推進する。

事業計画

小林委員長	事業計画としては素晴らしい。しかし、今年度は新学期からコロナウイルスの影響によって、自宅待機等で、学習時間等へのしわ寄せが予測されるので、その辺の考慮も必要になるのではないのでしょうか。
事務局	ご指摘の点を踏まえ、令和2年度は、来館を前提とした鑑賞教育以外に自宅や学校でできる鑑賞活動の支援を強化するよう努めます。具体的には、当館HP等を活用し、WEB版アートカードやワークシートを使った自宅学習をご案内するなどの取り組みを進めていきたいと考えています。
中村委員	特に、子供たちへのワークショップに期待します。
小林委員	1. (6) 教員のためのプログラム 年1回程度ということですが、是非もっと多くの機会を作って欲しい
事務局	年度によって、時期と対象を変えつつ2～5回の複数開催を試みてきました。しかし、参加者が分散することで、教員間の情報共有という点に課題が残りました。そこで令和2年度は1回に集約して実施することとし、1回の参加者を増やして事業効果の向上に努めていきたいと考えます。

達成目標

小林委員長	コロナウイルスへの対応を考慮した時には必然的に達成目標も変わるものと思われ ます。
-------	--

⑤ 所蔵作品を充実させ、適切に管理する。

事業計画	
柏木委員	令和3年度以降の美術資料の購入に向けて、調査に取り組んでください。
事務局	当館のコレクションの性格を踏まえながら、それをより強化、拡充しうる作品を購入するべく、幅広く調査を進めてまいります。
草川委員	令和元年度より取り組み始めた、ふるさと納税による寄付金が増加し、美術品の購入財源になるよう、積極的にPRをお願いいたします。
事務局	HP、Twitter、ポスター・チラシ等に加え、令和2年度展覧会スケジュールにもふるさと納税についてのPR欄を設けました。引き続き、財源確保に寄与できるよう、積極的にPRしてまいります。
達成目標	意見なし

⑥ 利用者にとって心地よい空間、サービスを提供する。

事業計画	
小林委員長	この項目と関連しては、運営業務と維持管理業務の面から事業計画が立てられていますが、今年度に関してはコロナウイルスに関する危機管理問題を考慮することが望まれます。
事務局	ご指摘のとおり、運営・維持管理だけでなく、コロナウイルスに対する危機管理にも取り組んでまいります。
小林委員	来館者アンケートの回答に「特によかったところ、よくなかったところ」を具体的に記述してもらう欄ができたのはとても良いと思う。
達成目標	
小林委員長	そうした意識化に伴う留意点が付加されることになると、達成目標の視点も変わってくるのではないのでしょうか。
事務局	ご指摘のとおり、数値目標だけでなく、来館者アンケートには可能な限り答えていく視点で取り組んでまいりたいと思います。
草川委員	毎年、この目標は高いがクリアされており、来館者に高い評価が得られているという証である。引き続き頑張ってください。

⑦ すべての人にとって利用しやすい環境を整える。

事業計画	
小林委員長	今年度はコロナウイルス問題いかによっては、人が集まる施設へのチェックが厳しくなるので、手洗い用のアルコール剤や建物の換気等々に留意しなければならないのではないのでしょうか。そのような状況を想定しての対応の器材、薬品、人的配置等に留意が求められる。
達成目標	
小林委員長	そうした留意点と結びついて、達成目標の設定も異なるかと思います。

⑧ 事業の質を担保しながら、経営的な視点をもって、効率的に運営・管理する。

事業計画

小林委員長	この項目に関しては、事業運営管理の主眼が、電気・水道の使用量、事務用品の費用に置かれ事業計画が設置されているが、コロナウイルス防止策問題を考えると、事業計画の見直しを考慮しなければいけないのではないかと。そういう時には特別措置問題を講じても良いのではないのでしょうか。
事務局	ご指摘のとおり、臨時休館も長期化しておりますので当初事業計画どおりにはならないと思われませんが、それに代わる計画も立て難い状況です。あくまで目安ですので計画はそのままに、他の部分で効率化を図れるところは別途取り組んでまいりたいと思います。
柏木委員	コロナウイルス対応のような他律的要因への対応等、公共施設として効率のみで評価できない要素もあることを含みおきたいと思います。

達成目標

小林委員長	事業計画の設定いかんによっては達成目標の設定も変わってくるのではないのでしょうか。
事務局	上記にお答えしましたとおり、新たな目標も立て難い状況ですので、現状目標はそのままにしたいと思います。
中村委員	すばらしい目標だと思います。

令和2年度以降の会議運営について [資料2](会議開催を年3回から2回に変更)

小林委員長	この「無」は事務局の提案に賛成ということです。
菊池委員	2回開催を前提にする明確な理由が分かりません。「例年、11月(第2回)の会議では、中間報告のため質疑応答もほとんどない」と言うことであれば書面開催でもいいと思うのですが、そのような状況ではなかったような気がします。なので、開催は3回を前提として、中間報告(11月)は委員長と協議して書面開催になる場合もある、程度で如何でしょう。と言うか、現状通り(3回)でもいいような気がします。
事務局	第2回の会議は委員改選のある年や年度の途中で計画の大きな変更がある場合に開催し、委員長の一任で書面会議とすることとしたいと思います。
草川委員	異議はありません。

その他

小林委員長	その他としての記載事項はありません。ただ感想を。例年のような状況でしたら、事業計画や達成目標等はとても良く出来ていると思います。しかし、今年度はコロナウイルスの防止に追われる年になりそうです。そうした事態が予測されるだけに、そうした「負の論理」に対する対応も顧慮されての事業計画でないと、計画と事態が遊離したものになるのではないのでしょうか。
菊池委員	終息の見えない新型コロナウイルスによる影響を、現段階で事業計画(案)に反映するのは賢明ではないので、平常の事業計画でよろしいかと思います。いずれにしても、その影響を確実に被る令和2年度は、極めて厳しい状況を強いられると思いますので、スタッフの方々全員で力を合わせて乗り切っていただきたいと思います。我々も協力できることがあれば、遠慮なくご相談ください。
草川委員	今年度はコロナウイルスの影響により、厳しい状況になったかと思いますが、来年度に向けて体制を整え、来館者に喜ばれる、学んでいただける美術館にして下さい。